

各種アンケート調査等の内容

1. 各種アンケート調査等の概要

① 調査の目的

- ◇ 本市の外国人市民、日本人市民、市職員（関係課）の国際化・多文化共生に関する意識や実態を把握し、今後の本市における国際化・多文化共生のまちづくりに資する課題や意向等の基礎データを得る。

② 調査の対象と方法

- ◇ 各対象の調査人数、調査方法などは、下表のとおり。

調査対象	調査数	母集団数	抽出方法	調査方法	備考
外国人市民	1,000人	5,115人 2022.9.1現在	住民登録基本台帳から層化抽出(国籍)	郵送調査 Web調査 併用	18歳以上を対象 郵送調査票はやさしい日本語版と外国語版を同封(タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、中国語、英語)
日本人市民	1,000人	147,592人 2022.9.1現在	住民登録基本台帳から層化多段抽出(性別・年代)	郵送調査 Web調査 併用	18歳以上を対象
市職員 市各課等	全数 全課	1,161人 2022.4.1現在	全数調査	庁内LANによる調査	職員個人調査及び各課への調査
外国人 関連団体	5団体 程度	—	外国人市民に関する生の声が聞ける団体を選定	ヒアリング	外国人コミュニティ団体、外国人支援団体等から選定

③ 調査期間

- ◇外国人市民、日本人市民のアンケート調査は、2022年12月上旬から中旬頃を予定。
- ◇市職員・課のアンケート調査は、2022年11月上旬を予定。
- ◇外国人関連団体へのヒアリングは、2022年12月下旬から1月中旬を予定。
- ◇その後、回収・集計・分析を行い、2023年2月末までに、調査結果をとりまとめる予定。

2. 各アンケート調査の設問項目（案）

① 外国人市民

区分	設問項目(案)
A 属性など	性別／年齢／国籍／在留資格／刈谷市居住年数／日本居住年数／住宅種類／雇われ方／日本での永住意向／永住したい理由
B 日本語能力	日本語能力（①聞く／②話す／③読む／④書く）／日本語で困った時
C 情報入手・相談先	情報入手施策評価／行政の制度・サービスの認知度／外国人向けサービスや市民活動の認知度／母国語で充実希望情報／相談施策評価
D 日本人との交流	日本人友人・知人の有無／その関係／地域の日本人との交流意向／日本人とのコミュニケーションギャップの有無／ギャップの内容
F 子育て・災害・医療福祉・労働	子育て施策評価／同居子どもの有無／子育て・教育で困った経験／地震などへの備え／医療施策評価／高齢者等施策評価／職場での外国人社員への取組み
F 多文化共生のまちづくり	住みよさ評価／多文化共生評価／コミュニティへの役立ち意識／外国人互助コミュニティへの関わり意向／日本人市民に必要なこと／外国人市民に必要なこと／刈谷市役所（行政）に必要なこと／具体的提案・やりたいこと・貢献できること

② 日本人市民

区分	設問項目(案)
A 属性など	性別／年齢／刈谷市居住年数／住宅種類
B 外国人との関わり	外国人市民の身近度／外国人市民との関わり内容／意思疎通の方法／相談の有無／相談の内容／相談への対応方法／外国人との交流意向／外国人とのコミュニケーションギャップの有無／ギャップの内容
C 外国人増への考え	期待／不安
D 外国人と日本人の意識と認知度	多文化共生評価／コミュニティへの役立ち意識／行政の制度・サービスの認知度／外国人向けサービスや活動の認知度／地震などへの備え
E 多文化共生のまちづくり	多文化共生の認知度／日本人市民に必要なこと／外国人市民に必要なこと／企業に必要なこと／刈谷市役所（行政）に必要なこと／外国人への支援者としてできること
F 地球規模の共生	SDGs の認知度／SDGs 達成への行動／具体的提案・やりたいこと、心温まるエピソード

③ 市職員（課）

区分	設問項目(案)
A 属性など	性別／年齢／所属（部・課）
B 職務での外国人との関わり	関わりの有無／国籍／意思疎通の方法／やさしい日本語の認知度／関わるうえでの問題点への考え（①意思疎通、②日本語文書、③制度・習慣の相違、④不安や偏見）／改善すべき課題と解決のための提案
C 当該課の外国人との関わりと課題	関わりの内容／問題や課題／解決に向けた手立てや提案

3. アンケート調査設計上の視点

① 国際化・多文化共生の目的、現計画のビジョンの進捗状況を把握する

◇ 第2次計画でも大切な考え方として引き継ぐ方針である国際化・多文化共生の4つの目的に関する現状がどうなっているのかを把握する。

目的	設問項目
1. 多様性を成長につなげる	[日本人] 外国人増への考え…期待/不安 [外国人/日本人] 多文化共生のまちづくり…日本人市民に必要なこと/外国人市民に必要なこと/企業に必要なこと/刈谷市役所(行政)に必要なこと
2. 地球規模の共生をすすめる	[日本人] 地球規模の共生…SDGsの認知度/SDGs達成への行動
3. すべての人の人権もまもる	[外国人] 日本語能力…日本語で困った時 [外国人] 情報入手・相談先、[日本人] 外国人と日本人の意識と認知度…情報入手施策評価/相談施策評価/行政の制度・サービスの認知度/外国人向けサービスや市民活動の認知度/母国語で充実希望情報 [外国人] 日本人との交流、[日本人] 外国人との関わり…コミュニケーションギャップの有無/ギャップの内容 [外国人] 子育て・災害・医療福祉・労働…子育て施策評価/子育て・教育で困った経験/地震などへの備え/医療施策評価/高齢者等施策評価 [日本人] 外国人と日本人の意識と認知度…行政の制度・サービスの認知度/外国人向けサービスや活動の認知度/地震などへの備え [市職員] 職務での外国人との関わり…関わるうえでの問題点への考え [市職員] 当該課の外国人との関わりと課題…問題や課題/解決に向けた手立て
4. 共存・協働のまちをつくる	[外国人] 日本人との交流…地域の日本人との交流意向 [外国人] 多文化共生のまちづくり…多文化共生評価/コミュニティへの役立ち意識/外国人互助コミュニティへの関わり意向/やりたい・貢献できること [日本人] 外国人との関わり…外国人市民の身近度/関わり内容/意思疎通の方法/相談の有無/相談の内容/相談への対応方法/外国人との交流意向 [日本人] 外国人と日本人の意識と認知度…多文化共生評価/コミュニティへの役立ち意識 [日本人] 地球規模の共生…やりたいこと、心温まるエピソード

◇ また現計画のビジョン(将来こうしたいまちの姿)のうち「地域」を中心に現状を把握する。

場面	ビジョン	主な設問項目
地域	誰もが、地域の住民に関心を持ち、それぞれの文化を大切に、認めあい、助けあっている。	[外国人] 多文化共生のまちづくり、[日本人] 外国人と日本人の意識と認知度…多文化共生評価
教育の場	すべての子どもが、等しく義務教育を受けられ、卒業後に向けた支援体制が整っている。	[外国人] 子育て・災害・医療福祉・労働…子育て施策評価/子育て・教育で困った経験

公共施設・機会	誰もが、言葉の壁なく、公共サービスをスムーズに受けられる。	[外国人] 情報入手・相談先、[日本人] 外国人と日本人の意識と認知度…情報入手施策評価／相談施策評価／行政の制度・サービスの認知度／外国人向けサービスや市民活動の認知度
企業・職場	多くの企業が、地域の国際化や多文化共生に貢献し、働く人が地域や世界とつながっていると実感している。	[外国人] 子育て・災害・医療福祉・労働…職場での外国人社員への取組み
地球規模	貧困や環境など世界の共通の課題に対し、刈谷の持つ人的・経済的・技術的な支援や行動によって、人々の自立と共生に貢献している。	[日本人] 地球規模の共生…SDGs の認知度／SDGs 達成への行動

② 現計画策定時の状況からの変化を把握する

- ◇ 現計画策定時に行った同じ設問で、11年前からの変化を調べ、点検・評価する。但し、外国人市民は国籍の構成比の変化が著しいため、単純には比較できないことに留意する。

対象	設問項目
外国人市民	属性など…日本での永住意向／永住したい理由 情報入手・相談先…外国人向けサービスや市民活動の認知度 子育て・災害・医療福祉・労働…地震などへの備え 日本人との交流…地域の日本人との交流意向 多文化共生のまちづくり…多文化共生評価、住みよさ評価
日本人市民	外国人との関わり…外国人市民の関わり内容／外国人との交流意向 多文化共生のまちづくり…多文化共生の認知度
市職員	当該課の外国人の関わりと課題…関わりの内容／問題や課題／解決に向けた手立て提案

③ 外国人市民の永住化に伴う課題にフォーカスする

- ◇ 外国人市民の永住化に伴い、外国にルーツを持つ子どもの増加、外国人市民の高齢化が進み、それに応じた行政サービスについて検討するための状況を把握する問いを設ける。

テーマ	設問項目
子育て・教育	[外国人] 子育て施策評価／同居子どもの有無／子育て・教育で困った経験／行政の制度・サービスの認知度（一部）
高齢化	[外国人] 医療施策評価／高齢者等施策評価／行政の制度・サービスの認知度（一部）
防災	[外国人] 地震などへの備え

問9. あなたは日本で永く住み続けますか？ [1つだけチェック]

- 1 ずっと住み続ける 2 できるだけ住み続けたい
3 研修や勉強が終わったり、仕事がなくなったりしたら、母国に帰国する
4 決めていない、わからない

問9-1. [問9で1, 2に回答者のみ] 住み続けたい理由は何ですか？ [いくつでもチェック]

- 1 仕事がある 2 子どもの教育、将来のため
3 家族、親戚が日本にいる 4 持ち家がある
5 友人がいる 6 治安がよい
7 日本や住んでいる地域に愛着がある 8 日本語を覚えて生活に不自由しない
9 その他()

B. 日本語についての能力について聞きます。

問10. あなたは、どの程度、日本語ができますか？ [①~④それぞれ、1つだけチェック]

①聞く

- 1 不自由なく聞きとれる(日本人と同じくらい) 2 ほとんど聞き取れる
3 ゆっくりなら聞き取れる 4 単語ならわかる
5 ほとんど聞き取れない

②話す

- 1 不自由なく話せる(日本人と同じくらい) 2 会話にはほとんど困らない
3 日常会話ができる 4 単語なら話せる
5 ほとんど話せない

③読む

- 1 不自由なく読める(日本人と同じくらい) 2 読むのにはほとんど困らない
3 簡単な漢字、ひらがな、カタカナが読める 4 ひらがな、カタカナなら読める
5 漢字だけ読める 6 ほとんど読めない

④書く

- 1 不自由なく書ける(日本人と同じくらい) 2 書くのにはほとんど困らない
3 簡単な漢字、ひらがな、カタカナが書ける 4 ひらがな、カタカナが書ける
5 ほとんど書けない

問11. あなたが最近、日本語で困った時は、どんな時ですか？ [5つまでチェック]

- 1 病気になったとき 2 市役所の窓口で 3 郵便局・銀行の窓口で
4 働いているとき 5 近所付き合い 6 仕事を探すとき
7 地震や台風などの災害のとき 8 学校の先生と話すとき
9 市役所や学校からの文書を読むとき 10 電車やバスにのるとき
11 買い物するとき 12 その他()
13 困ったことはない

- 3 幼稚園・保育園や学校のルールが母国とちがうこと
- 4 進学するために何をしたらいいかわからないこと
- 5 入学試験が難しいこと(高校受験、大学受験など)
- 6 子どもの就職先が見つからないこと
- 7 育児や教育についての情報が入らないこと
- 8 周囲に相談できる人がいないこと
- 9 教育にかかるお金が高いこと
- 10 あなたと子どもの得意な言語が違うため、必要なコミュニケーションが取れないこと
- 11 子どもがいじめや差別を受けていること
- 12 困っていること、困ったことはない
- 13 その他()

問22. あなたの家では、地震などに対して、どのような備えをしていますか？ [いくつでもチェック]

- 1 非常持ち出し品の準備
- 2 3日以上食べ物や水の準備
- 3 避難する場所の確認
- 4 家具が倒れないように固定
- 5 家族で災害時連絡方法の確認
- 6 その他()
- 7 特に準備していない

問23. 刈谷市は、安心して医療を受けられる環境が整っていると思いますか？ [1つだけチェック]

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

問24. 刈谷市は、地域の支えあいにより高齢者や障害者も安心して暮らせると思いますか？

[1つだけチェック]

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

問25. あなたが働く会社は、外国人社員のためにどんなことを行っていますか？ [いくつでもチェック]

- 1 日本語学習や社内のコミュニケーション支援
- 2 日本で暮らすための生活サポート
- 3 外国人社員向けのスキルアップ研修の実施
- 4 外国人社員が地域の活動に参加することの促進
- 5 職場で外国人社員のことを理解してもらう機会の提供
- 6 その他()
- 7 特になにもしていない

- 5 日本人と気軽にあいさつしたり、会話したりするようにする
- 6 地域を良くする活動や交流イベントに参加する
- 7 特にすることはない
- 8 その他()

問32. 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、多様性と活力のある地域社会にしていくために、刈谷市役所(行政)が実施する必要があることは何だと思いますか？[5つまでチェック]

- 1 外国人に必要な情報を集め、多言語で発信する
- 2 外国人が母国語で困りごとの相談を受けられる体制をつくる
- 3 外国人が日本の文化や習慣について学ぶ場をつくる
- 4 外国人の日本語学習を支援する
- 5 日本人が外国の文化や習慣について学ぶ場をつくる
- 6 日本人が外国語を学ぶ場をつくる
- 7 日本人と外国人が知り合い、交流を進める場をつくる
- 8 外国人が地域の活動に積極的に参加するように促す
- 9 外国人同士が互いに助け合うコミュニティをつくる
- 10 外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する
- 11 外国人への差別や偏見をなくすように、日本人へ意識啓発を進める
- 12 日本人、外国人双方に、子どもの頃から異文化理解や多文化共生の教育を進める
- 13 外国人と日本人の家族同士、子ども同士を通じた交流を進める
- 14 その他()

問33. 刈谷市を多文化共生のまちにするために、あなたの具体的な提案、あるいはやりたいこと、貢献できそうなことがありましたら、ご記入ください。[自由記入]

質問は、これで終わりです。ご協力ありがとうございました！
この調査票は3つ折りして、同封の返信用封筒にて、12月26日までに、ご返送ください。

刈谷市の国際化・多文化共生のまちづくりのための
日本人市民アンケート [調査項目 (案)]

A あなた自身について聞きます。

問1. あなたの性別は？ [○は1つ]

- 1 男 2 女 3 答えたくない・分からない

問2. あなたの年齢は？ [○は1つ]

- 1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70 歳以上

問3. あなたが刈谷市に住んでいる年数は？ [○は1つ]

- 1 1年より短い 2 1年～4年 3 5年～9年
4 10年～19年 5 20年以上

問4. あなたが住んでいる住宅の種類は？ [○は1つ]

- 1 持ち家(一戸建て) 2 持ち家(マンション) 3 民間の賃貸住宅
4 会社の社宅・社員寮・学生寮 5 市営住宅・雇用促進住宅
6 その他()

B. 外国人との関わりについてお聞きます。

問5. あなたは、普段生活をしていて、外国人市民の存在を身近に感じますか。[○は1つ]

- 1 とても身近に感じている 2 ある程度身近に感じている
3 あまり身近に感じない 4 全く身近に感じない

問6. あなたは、市内の外国人とどのような関わりがありますか。[○はいくつでも]

- 1 近所や買い物で外国人を見かけることはある
2 近所の外国人で、会ったときにあいさつする人がいる
3 仕事でのつきあいがある外国人がいる
4 保育園・学校の送迎時や行事での保護者同士でのつきあいがある外国人がいる
5 一緒に遊びや食事をする外国人がいる
6 外国人との交流イベントやボランティアという機会と一緒に過ごすことがある
7 その他()
8 ほとんど見かけないし、関わりもない

問6-1. [問6で2～7の回答者のみ] 外国人との意思疎通のどのようにしましたか。[○はいくつでも]

- 1 日本人との会話と同じ日本語で会話した 2 日本語をやさしくして会話した
3 英語で会話した 4 その外国人の母語で会話した

- 5 身振り・手振りや表情で
- 6 文字や絵を描きながら
- 7 スマホの通訳アプリなどを使って
- 8 意思疎通はしていない
- 9 その他()

問7. あなたは、外国人から相談を受けたことはありますか[○は1つ]

- 1 ある
- 2 ない

問7-1. [問7で1の回答者のみ] 受けた相談は、どのような内容ですか[○はいくつでも]

- 1 仕事に関すること
- 2 日本語の学習に関すること
- 3 地域の生活ルール
- 4 日本人とのつきあいについて
- 5 子育てや子どもの教育
- 6 医療、福祉、介護のこと
- 7 住居のこと
- 8 在留資格
- 9 その他()

問7-2. [問7で1の回答者のみ] あなたは、その相談に対してどのように対応しましたか。

[○はいくつでも]

- 1 自分で対応
- 2 市役所の外国人生活相談を紹介
- 3 解決できる行政の個別窓口を紹介
- 4 具体的な施設やサービスを紹介
- 5 外国人を支援する NPO 団体を紹介
- 6 その他()

問8. あなたは、自分が住んでいる地域の外国人と交流したいですか。[○は1つ]

- 1 既に十分に交流している
- 2 少し交流しているが、もっと交流したい
- 3 今は交流していないが、今後交流したい
- 4 あまり交流したくない

問9. あなたは、外国人と関わるときに、コミュニケーションギャップを感じることはありますか。[○は1つ]

- 1 よくある
- 2 時々ある
- 3 ない

問9-1. [問9で1, 2の回答者のみ] 具体的に感じるコミュニケーションギャップ[○はいくつでも]

- 1 言葉が通じないこと
- 2 文化・習慣の違いで理解し合えないこと
- 3 どんな人かわからない不安や偏見の気持ち
- 4 その他()

C. 地域に住む外国人が増えることへの考えをお聞きます。

問10. あなたが住んでいる地域で、外国人の住民が増えた場合、期待できると思うことは何ですか。

[○は2つまで]

- 1 人手不足が解消する
- 2 地域経済が活性化する
- 3 人口減少に歯止めがかかる
- 4 多様な考えや文化がもたらされ豊かな社会になる
- 5 外国の言葉や文化を学ぶ機会が増える
- 6 期待できることはない

7 その他()

問11. あなたが住んでいる地域で、外国人の住民が増えた場合、不安に思うことは何ですか。

[○は2つまで]

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 言葉や文化の違いでトラブルになる | 2 治安が悪化する恐れがある |
| 3 日本人の雇用が脅かされる | 4 日本の伝統や文化が損なわれる |
| 5 不安に思うことはない | 6 その他() |

D. 外国人と日本人の意識、認知度の違いを調べるためにお聞きます。

※外国人市民の回答と日本人市民の回答結果を比較するための質問です。

問12. 刈谷市に住む外国人と日本人は、異なる文化や習慣を互いに認め合いながら暮らしていると思えますか。[○は1つだけ]

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問13. 地域に暮らすコミュニティの一員として、何か役に立ちたいと思えますか。[○は1つ]

- | | | |
|---------|------|-----------|
| 1 とても思う | 2 思う | 3 あまり思わない |
|---------|------|-----------|

問14. あなたは次の行政の制度やサービスがあることや利用方法を知っていますか。[○はいくつでも]

- 1 災害が起きた時に自分が緊急に避難する公共施設
- 2 市役所での弁護士による無料相談
- 3 家族が死亡した時の火葬の手続きのしかた
- 4 介護保険制度
- 5 市役所での家庭における「子どもに関すること」や「一人親に関すること」の相談
- 6 夜間にも子どもを預けられるファミリーサポートセンター
- 7 幼稚園・保育園の入園のしかた
- 8 仕事先で問題が起きた時の相談先(労働基準監督署)
- 9 所得が低い市民のための市営住宅
- 10 公共施設連絡バス「かりまる」
- 11 会議やイベントで利用できる生涯学習センターや市民館
- 12 家庭から出るごみの分別のしかた
- 13 休日や夜間の急病の際に連絡する休日診療所や救急医療情報センター

問15. あなたは次の外国人市民向けのサービスや市民活動を知っていますか。[○はいくつでも]

- 1 刈谷市国際プラザ(国際交流と多文化共生を促進する公共施設)
- 2 タガログ語、ポルトガル語、中国語、英語による外国人生活相談
- 3 刈谷市国際交流協会のボランティアによる日本語教室
- 4 畑づくりを通して国際交流を進める「ワールド・スマイル・ガーデン」

- 5 フィリピン人(SBK)、ベトナム人(VNK)、ブラジル人(OasisBrasil)同士の互助コミュニティ団体
- 6 子どもたちの日本語学習支援を行うボランティア団体(SSS)

問16. あなたの家では、地震などに対して、どのような備えをしていますか。[○はいくつでも]

- 1 非常持ち出し品の準備
- 2 3日以上のお食べ物や水の準備
- 3 避難する場所の確認
- 4 家具が倒れないように固定
- 5 家族で災害時連絡方法の確認
- 6 その他()
- 7 特に準備していない

E. 多文化共生のまちづくりについてお聞きます。

問17. あなたは、本調査以前に「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか [○は1つ]

- 1 聞いたことがある
- 2 聞いたことがない

※多文化共生とは、「ボーダーレス社会により移住してきた国籍や民族などの異なる人々と日本人が、互いの文化的違いを認めあい、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。」の意味を指します。

問18. 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、多様性と活力のある地域社会にしていくために、日本人市民に必要なだと思うことは何ですか。[○は3つまで]

- 1 外国人に対する偏見や差別意識をもたないようにする
- 2 外国の言葉や文化、習慣を学ぶ
- 3 日本語や日本文化を外国人に教える
- 4 日本で生活するルールを守るように外国人市民に呼びかける
- 5 外国人に対して、気軽にあいさつしたり、会話したりするようにする
- 6 地域を良くする活動や交流イベントに外国人が参加するよう呼びかける
- 7 特にすることはない
- 8 その他()

問19. 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、多様性と活力のある地域社会にしていくために、外国人市民に必要なだと思うことは何ですか。[○は3つまで]

- 1 日本の習慣、生活ルールを守るようにする
- 2 日本語や日本の文化を学ぶ
- 3 外国の言葉や文化を教える
- 4 生活の中で感じたことを提案、発言する
- 5 日本人とあいさつしたり、会話したりするようにする
- 6 地域を良くする活動や交流イベントに参加する
- 7 特にすることはない
- 8 その他()

問20. 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、多様性と活力のある地域社会にしていくために、企業に必要だと思うことは何ですか。[○は3つまで]

- 1 雇用する外国人社員の日本語学習や社内のコミュニケーション支援
- 2 雇用する外国人社員が日本で暮らすための生活サポート
- 3 外国人社員向けのスキルアップ研修の実施
- 4 外国人社員が地域の活動に参加することの促進
- 5 職場で外国人社員のことを理解してもらう機会の提供
- 6 社員の海外経験を生かした国際化・多文化共生への貢献
- 7 多様性を活かした人権尊重の職場をつくる
- 8 特にすることはない
- 9 その他()

問21. 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、多様性と活力のある地域社会にしていくために、刈谷市役所(行政)が実施する必要があることは何だと思えますか。[○は5つまで]

- 1 外国人に必要な情報を集め、多言語で発信する
- 2 外国人が母国語で困りごとの相談を受けられる体制をつくる
- 3 外国人が日本の文化や習慣について学ぶ場をつくる
- 4 外国人の日本語学習を支援する
- 5 日本人が外国の文化や習慣について学ぶ場をつくる
- 6 日本人が外国語を学ぶ場をつくる
- 7 日本人と外国人が知り合い、交流を進める場をつくる
- 8 外国人が地域の活動に積極的に参加するように促す
- 9 外国人同士が互いに助け合うコミュニティをつくる
- 10 外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する
- 11 外国人への差別や偏見をなくすように、日本人へ意識啓発を進める
- 12 日本人、外国人双方に、子どもの頃から異文化理解や多文化共生の教育を進める
- 13 外国人と日本人の家族同士、子ども同士を通じた交流を進める
- 14 その他()

問22. あなた自身が、外国人への支援者として行政に協力できるとしたら、どのようなことで協力できると思えますか。[○はいくつでも]

- 1 通訳(話すこと)
- 2 役所に出す申請書の記入補助など(書くこと)
- 3 市役所からの緊急・重要な情報を SNS や口コミで発信し広めること
- 4 日本の文化や生活に必要な情報・知識を教えること
- 5 困りごとの相談にのって、解決できる市役所の関係窓口を案内すること
- 6 その他()

F. 地球規模の共生についてお聞きます。

問23. あなたは、SDGs(持続可能な開発目標)を知っていますか。[○は1つ]

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 内容を知っていて、関心がある | 2 具体的な内容まで知っている |
| 3 名前は知っている | 4 知らない |

問24. SDGsの達成に向けた次の行動をしたことがありますか。[○はいくつでも]

- 1 世界の貧困解決や子ども支援のための寄付
- 2 開発途上国の生産者に正当な対価が支払われるフェアトレード商品の購入
- 3 リユースや省エネなど地球環境の保全に配慮した行動
- 4 SDGsに関するTV番組の積極的な視聴や講座の受講
- 5 SDGsに関連する市民活動への参加
- 6 その他()

問25. 刈谷市を多文化共生のまち、地球規模の共生を進めるまちにするために、あなたの具体的な提案、あるいはやりたいこと、貢献できそうなことがありましたら、ご記入ください。

あるいは、あなたの市内の外国人との関わりの中で心温まるエピソードなど「いい～話」や「面白い話」がありましたら、教えてください。[自由記入]

質問は、これで終わりです。ご協力ありがとうございました！

この調査票は3つ折りして、同封の返信用封筒にて、12月26日までに、ご返送ください。

刈谷市の国際化・多文化共生のまちづくりのための
職員アンケート [調査項目 (案)]

<全職員> ※職員一人ひとりが答えてください。

A あなた自身について聞きます。

問1. あなたの性別は？ [1つ選択]

- 1 男 2 女 3 答えたくない・分からない

問2. あなたの年齢は？ [1つ選択]

- 1 20～29 歳 2 30～39 歳 3 40～49 歳
4 50～59 歳 5 60 歳以上

問3. 所属 ()部 ()課等

B. 職務での外国人市民との関わりについてお聞きます。

問4. 2022年4月以降これまでの間で、職務で外国人市民と関わったことはありますか [1つ選択]

- 1 ある 2 ない

問4—1. [問4で1の回答者]どこの国の外国人市民でしたか。わかる範囲でお答えください。

[いくつでも選択]

- 1 フィリピン 2 ベトナム 3 ブラジル 4 中国 5 韓国・朝鮮
6 インドネシア 7 ネパール 8 スリランカ 9 ミャンマー 10 ペルー
11 タイ 12 その他()

問4—2. [問4で1の回答者]外国人市民との意思疎通のどのようでしたか。 [いくつでも選択]

- 1 外国人生活相談員(通訳)介して 2 市役所支給のポケットークを使って
3 スマホの通訳アプリなどを使って 4 その外国人の母語で会話した
5 英語で会話した 6 日本人との会話と同じ日本語で会話した
7 日本語をやさしくして会話した 8 身振り・手振りや表情で
9 文字や絵を描きながら 10 その他()

問5. 「やさしい日本語」を知っていますか、また使うようにしていますか。 [1つ選択]

- 1 知っているし、使うよう心掛けている
2 知っているが、使っていない
3 知らない

刈谷市の国際化・多文化共生のまちづくりのための
各課等アンケート [調査項目 (案)]

<課単位> ※課等の実態や提案を代表者がとりまとめて教えてください。

C. 当該課等における外国人市民との関わり、課題についてお尋ねします。

問1. 当該課等における外国人市民との関わりには、どんなことがありますか。
具体的にお書きください。

問2. 当該課等において、外国人市民との関わりの中で、2022年4月からこれまでにあった問題点、今後想定される課題がありますか。具体的にお書きください。複数ある場合は、冒頭に通し番号(①～)を付けてください。



問3. 問2で挙げた問題点や課題に対して、今後取り組むとよい考える手立てや提案などがありましたら、具体的にお書きください。問2の通し番号(①～)を付けてください。